

平成28年8月18日

平成28年8月16日からの台風第7号に伴う

出水の概要（速報版）をとりまとめました

札幌開発建設部では、平成28年8月16日からの台風第7号に伴う出水の概要について、別紙のとおりまとめましたので、お知らせします。

札幌開発建設部管内では、9年ぶりに北海道に上陸した台風第7号の影響などにより、各地で激しい雨が降りました。

このため、札幌開発建設部が管理する河川では、空知川など6河川で「はん濫注意水位」を超えましたが、これまで進めてきた河川整備や洪水調節施設によって出水時の水位低下が図られたほか、直轄排水機場を稼働させ、内水はん濫被害の防止・軽減を図り、顕著な被害の発生を回避することができました。

なお、今回の出水では、石狩川滝川地区において8月3日に協定式が行われた「石狩川滝川地区水害タイムライン」が初運用されました。

タイムラインの概要はこちらです。↓

http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/11saigai/16timeline_kentoukai/pdf/kanseihoukoku_shiryuu01.pdf

※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月18日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

河川計画課流域計画官 田代 隆志（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）

河川管理課課長補佐 久保 徳彦（電話番号 011-611-0340 ダイヤルイン）

平成28年 台風第7号による出水の概要

【速報版】

※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月18日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

国土交通省 北海道開発局

札幌開発建設部

平成28年8月18日

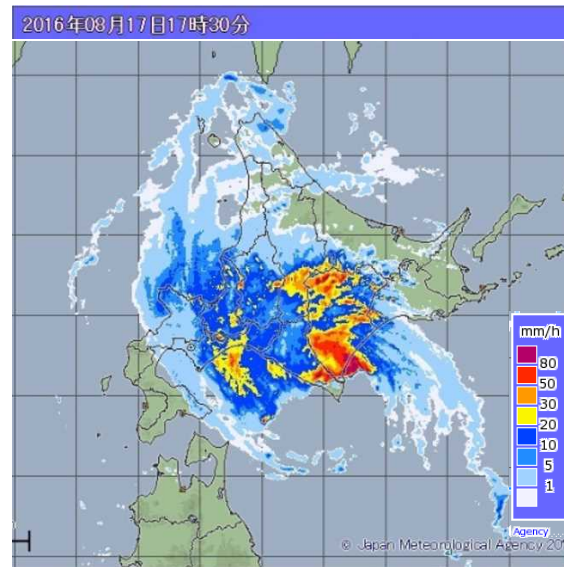
台風第7号に伴う大雨による出水の概要

■ 8月16日から太平洋を北上する台風第7号の影響により大気的不安定な状況となり、局地的に激しい雨が降りました。また17日には台風第7号が北海道を縦断し、流域各地で激しい雨が降りました。

■ 札幌開発建設部が管理する河川では、空知川など6河川で「はん濫注意水位」を超えましたが、これまで進めてきた河川整備や直轄ダム等の洪水調節施設によって出水時の水位低下を図ったほか、直轄排水機場を稼働させ内水はん濫被害の防止・軽減を図りました。

■ また、江別市内での内水排除のため、排水ポンプ車の派遣を行いました。

※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月18日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

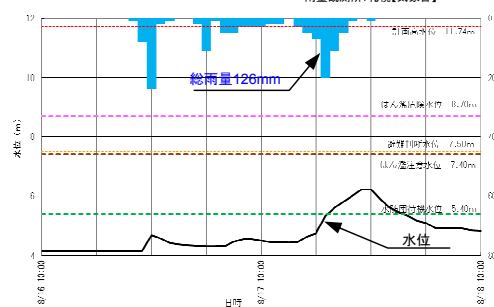


8月17日17:30時点の雨量分布 ※札幌管区气象台HPから

平成28年8月18日16時現在の状況

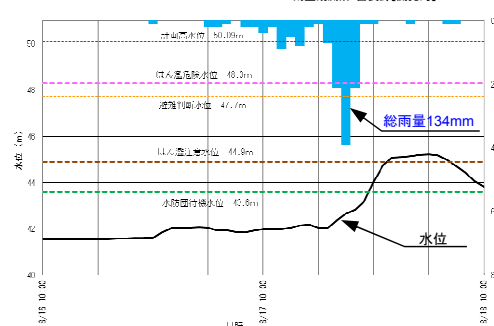
豊平川 雁来地点

水位流量観測所: 雁来【開発局】
雨量観測所: 札幌【气象台】



空知川 赤平地点

水位流量観測所: 赤平【開発局】
雨量観測所: 富良野【開発局】



【基準水位を超過した観測所】

●はん濫注意水位超過: 7観測所

- (空知川) 赤平
- (厚別川) 厚別、川下橋
- (嶮淵川) 嶮淵
- (島松川) 下島松
- (輪厚川) 輪厚
- (月寒川) 月寒

●水防団待機水位超過: 11観測所

- (石狩川) 納内、砂川橋、奈井江大橋、石狩河口、石狩
- (豊平川) 雁来
- (幾春別川) 西川向
- (旧美唄川) 大豊橋
- (産化美唄川) 産化美唄
- (茨戸川) 茨戸
- (創成川) 創成



【防災操作実施ダム】

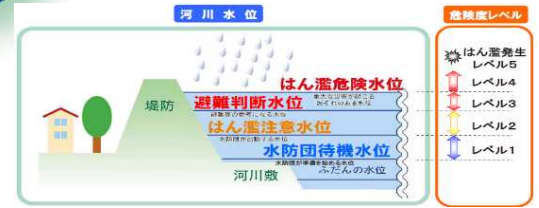
- (豊平川) 豊平峡ダム、定山溪ダム
- (漁川) 漁川ダム
- (幾春別川) 桂沢ダム
- (空知川) 金山ダム

○はん濫危険水位
避難勧告等の発令判断、住民の避難判断の目安となる水位

○避難判断水位
避難準備情報の判断、避難所の開設、要配慮者の避難判断の目安となる水位

○はん濫注意水位
水防機関が活動して水防活動を行う目安となる水位

○水防団待機水位
水防団が水防活動するため待機する水位



札幌開発建設部の取組①（浸水被害軽減のための活動状況（内水排除））

河川水位の上昇に伴って内水による浸水が発生したため、札幌開発建設部の11箇所の直轄排水機場を稼働して内水排除を行い被害を軽減しました。また、江別市内（厚別川）の内水の浸水箇所に排水ポンプ車を派遣し、同じく内水被害の軽減を図りました。



稼働箇所図

- 排水機場稼働箇所 11箇所
- 排水ポンプ車稼働箇所 1箇所



※11箇所の直轄排水機場において、合計で約133時間ポンプを稼働し、内水排除を実施。 8月18日16時現在

河川名	市町村名	排水機場名	稼働時間
豊平川	札幌市	雁来排水機場	約23時間
		厚別排水機場	約12時間
厚別川	札幌市	山本排水機場	約18時間
		世田谷排水機場	約6時間
望月寒川	札幌市	月寒排水機場	約11時間
創成川	札幌市	創成排水機場	約5時間
千歳川	長沼町	南6号排水機場	約16時間
		南9号排水機場	約15時間
	恵庭市	漁太川排水機場	約5時間
旧夕張川	長沼町	馬追運河排水機場	約18時間
篠津川	当別町	新篠津排水機場	約4時間
合計		11箇所	

札幌開発建設部の取組②（情報収集及びダム操作、自治体への支援状況等）

○札幌開発建設部では、24時間体制で気象及び河川の情報を監視し、管理施設の操作を行いました。

- ・河川巡視及び監視による現地調査を実施
- ・気象及び河川情報の監視
- ・ダム等の管理施設の操作を行い、下流河川の水位低減効果を発現

○これらに加え、江別市からの要請により排水ポンプ車を派遣しました。

○8月3日に協定式が行われた「石狩川滝川地区水害タイムライン」が初運用されました。

タイムライン検討会の詳細はこちらです。→ http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/11saigai/16timeline_kentoukai/timeline01.html#07

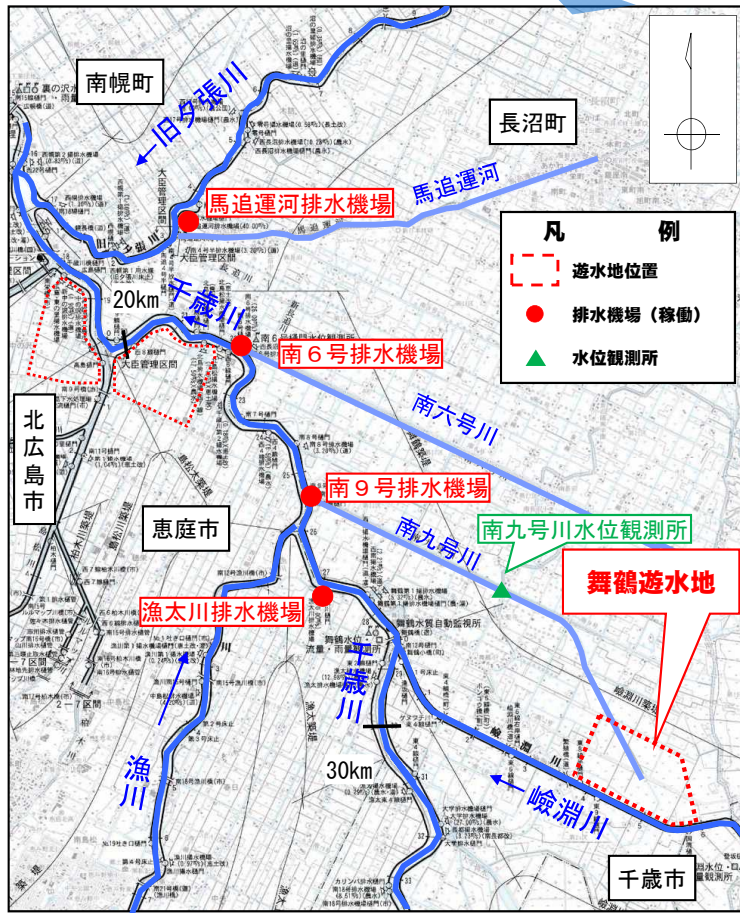
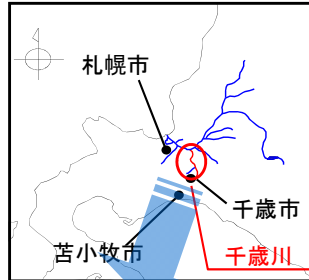


治水事業の効果① ^{まいづる} 舞鶴遊水地による河川水位の低減効果

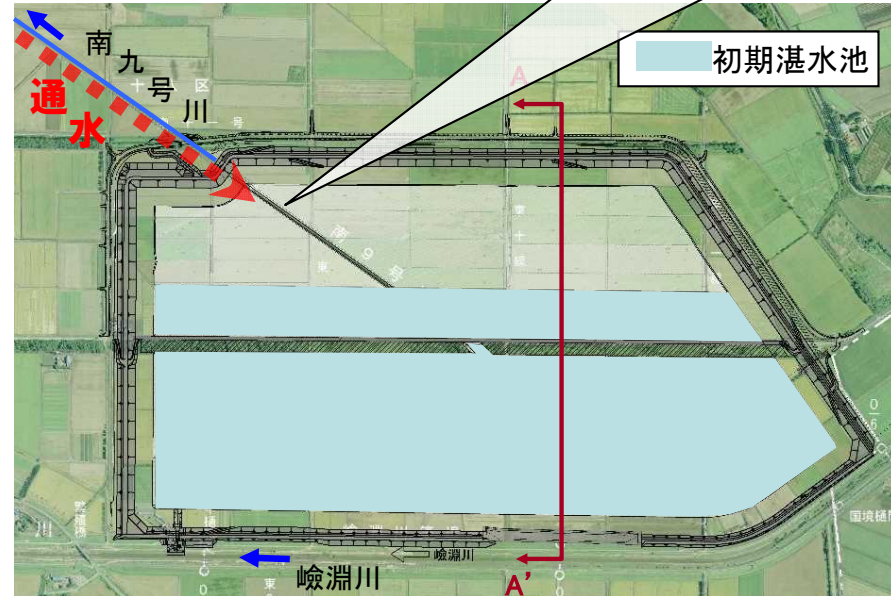
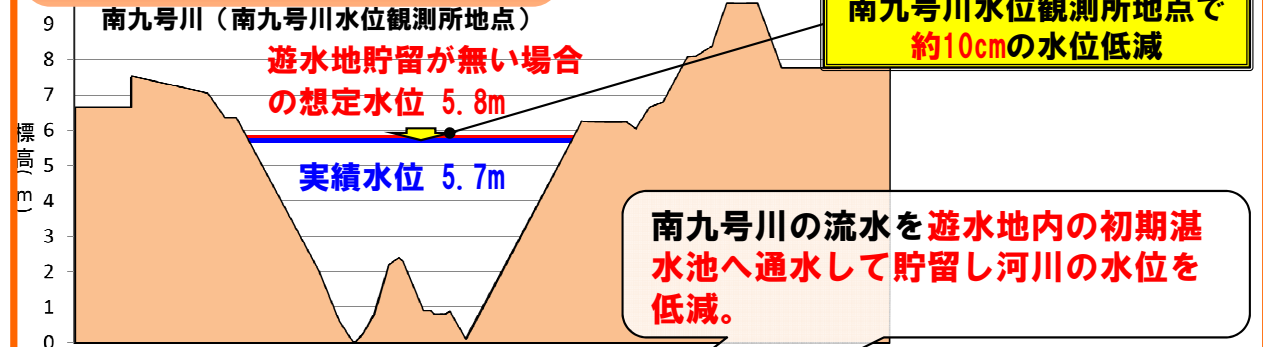
今回の出水では、千歳市の西越雨量観測所^{にしこし}で115mmの雨量が観測され、浸水被害の発生が危ぶまれましたが、舞鶴遊水地の初期湛水池に、南九号川の流水を約125万m³貯留し、河川の水位を約10cm低減することができました。

千歳川位置図

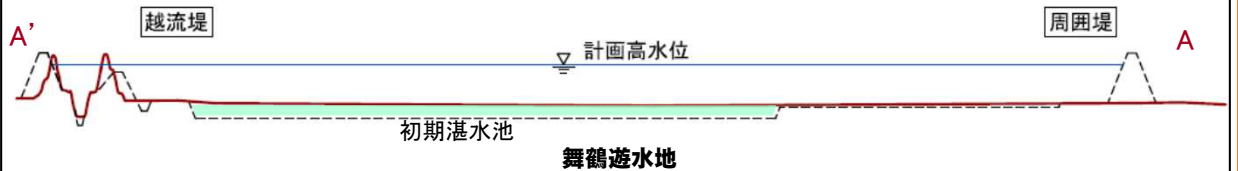
「舞鶴遊水地」
洪水時に千歳川の水位を低下させるための遊水地
(平成26年度完成)



舞鶴遊水地による浸水被害防止



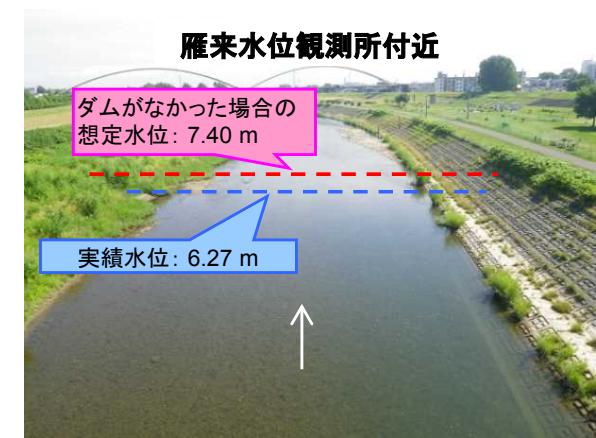
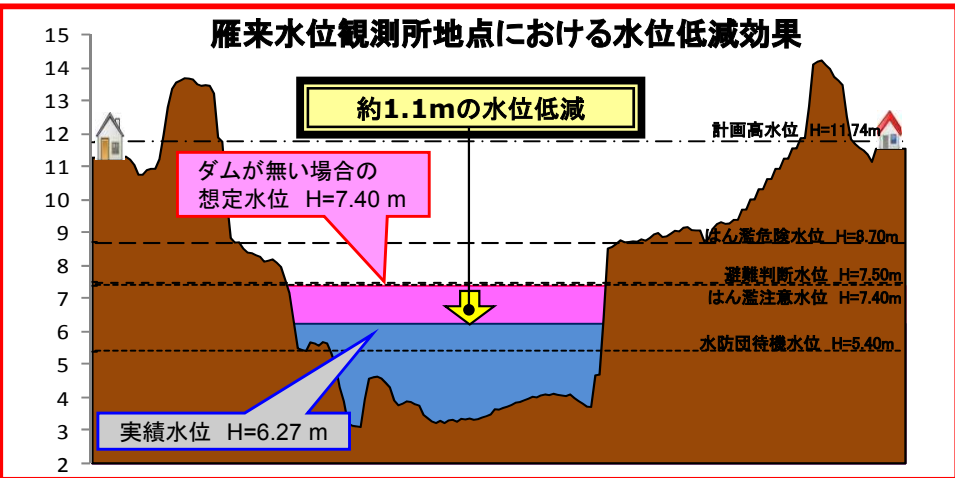
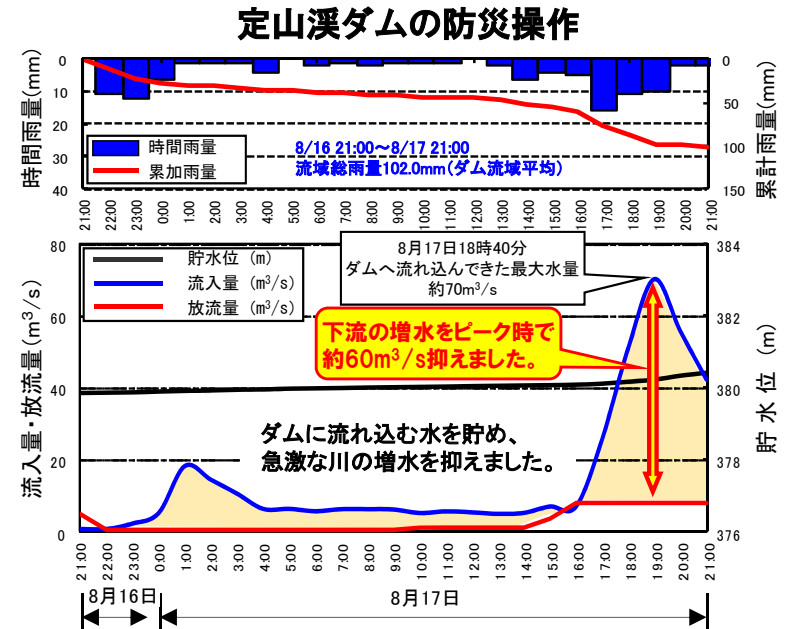
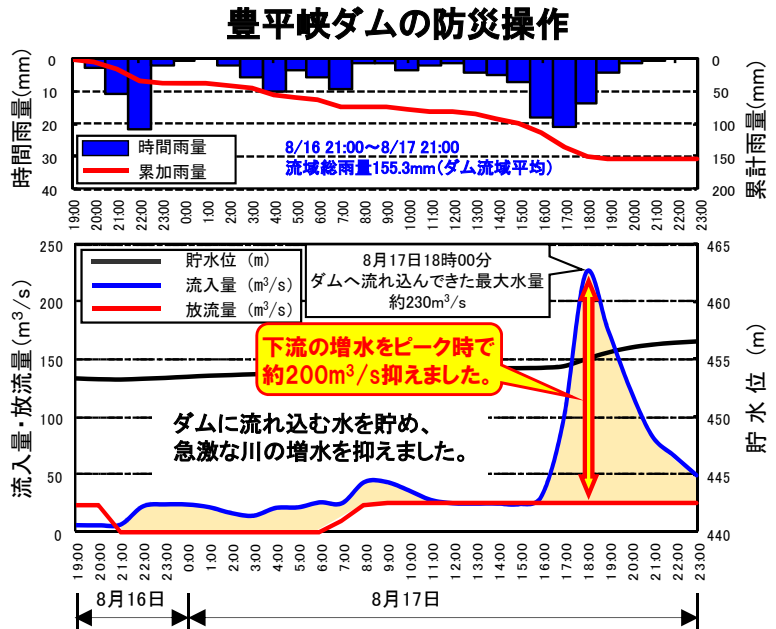
嶮淵川 KP5.0



治水事業の効果② ダム整備が効果を発揮(北海道 豊平峡・定山溪ダム)(国管理)

- 平成28年8月16日～17日の台風7号による降雨により、豊平峡・定山溪ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 豊平峡・定山溪ダムの洪水調節等によって下流河川の水水位低減を図り、下流の札幌市(雁来水位観測所)では、はん濫注意水位※以下の水位に抑えることができました。
- 仮にダムが整備されていなければ、はん濫注意水位を上回る出水となったことが想定されます。

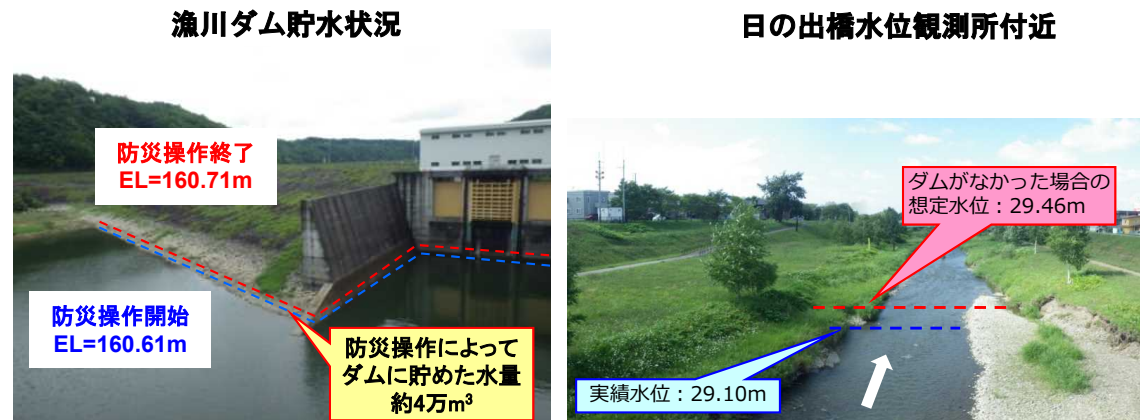
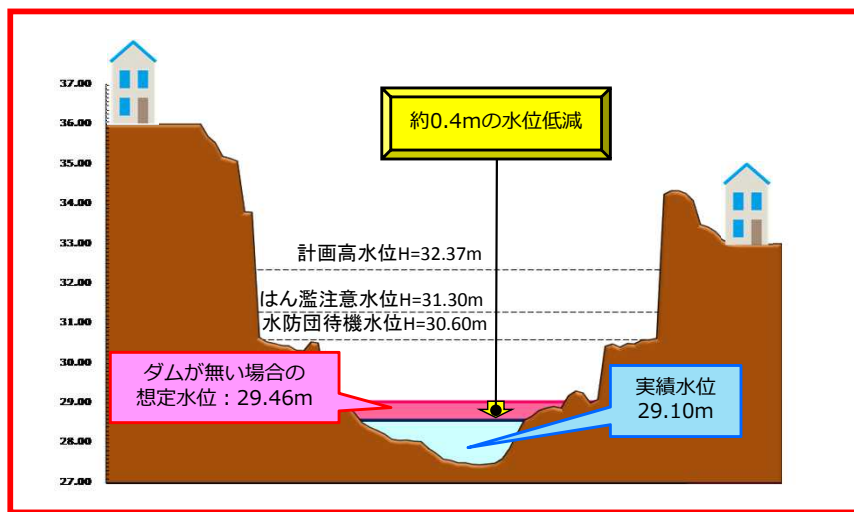
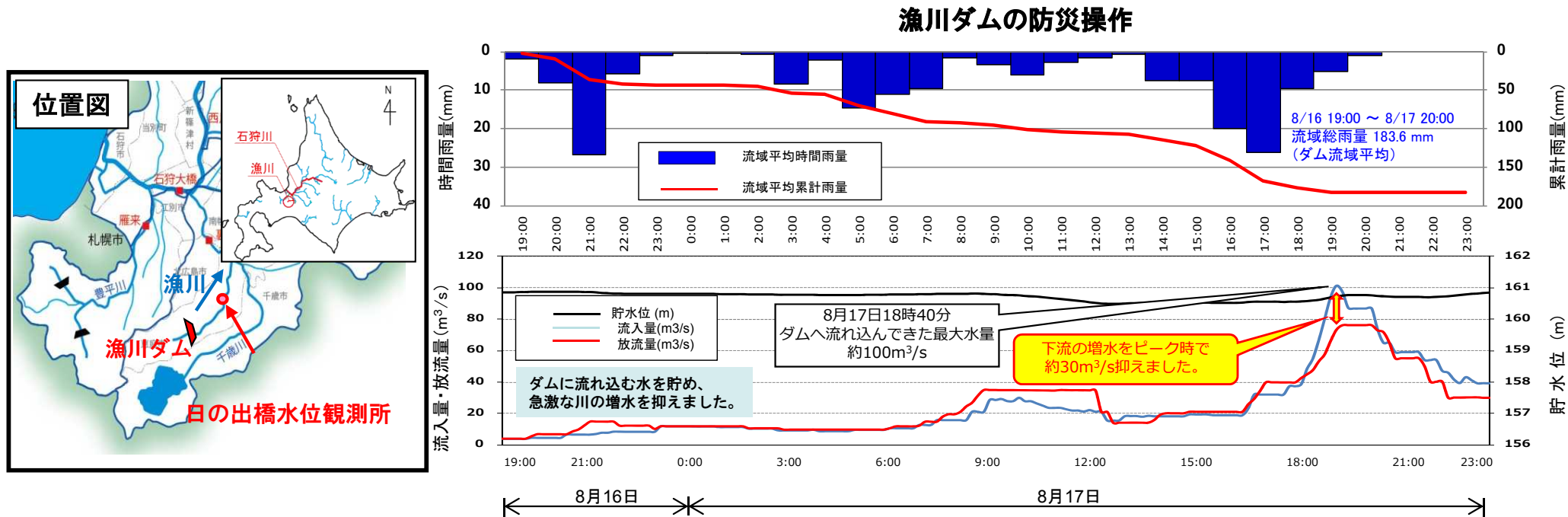
※はん濫注意水位：水防団が水防活動を行うための出動を行う目安等となる水位。



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

治水事業の効果③ ダム整備が効果を発揮(北海道 漁川ダム)^{いざりがわ}(国管理)

- 平成28年8月17日の台風7号による降雨により、漁川ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 漁川ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の恵庭市(日の出橋観測地点)では、約0.4m水位を低減させる効果があったものと推測されます。

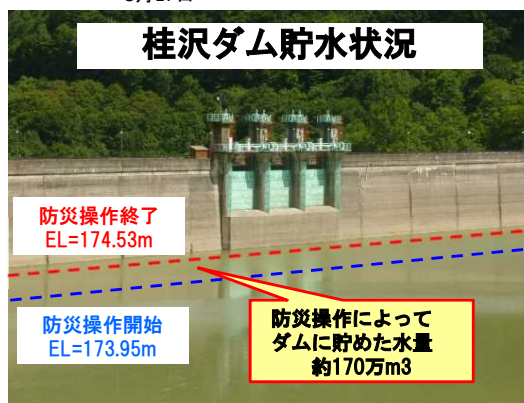
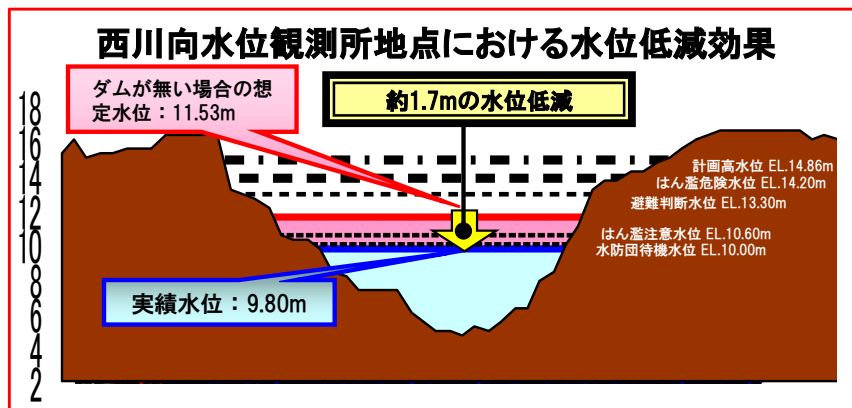
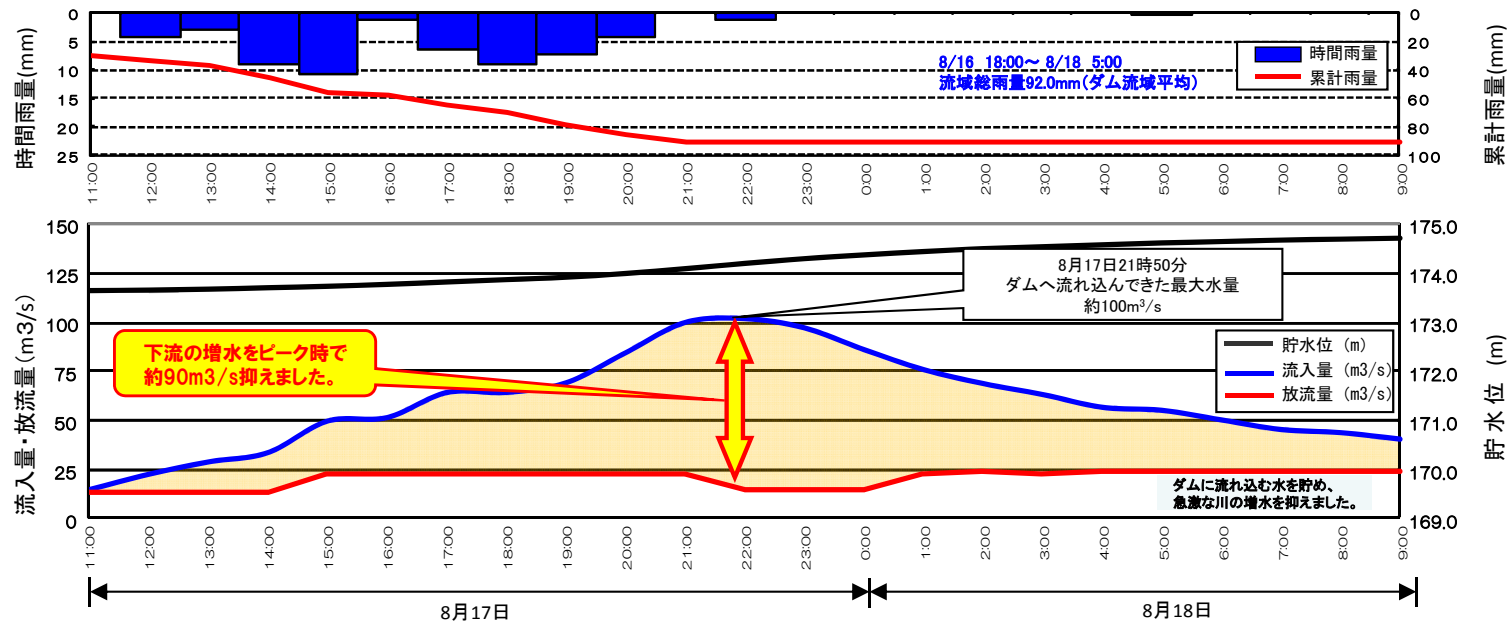


※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

治水事業の効果④ ダム整備が効果を発揮(北海道 桂沢ダム)(国管理) かつらざわ

- 平成28年8月16日～17日の台風7号による降雨により、桂沢ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 桂沢ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の岩見沢市にしかわむかい(西川向水位観測所)では、はん濫注意水位※以下の水位に抑えることができました。
- 仮にダムが整備されていなければ、はん濫注意水位※を上回る出水となったことが想定されます。

※はん濫注意水位：水防団が水防活動を行うための出動を行う目安等となる水位。

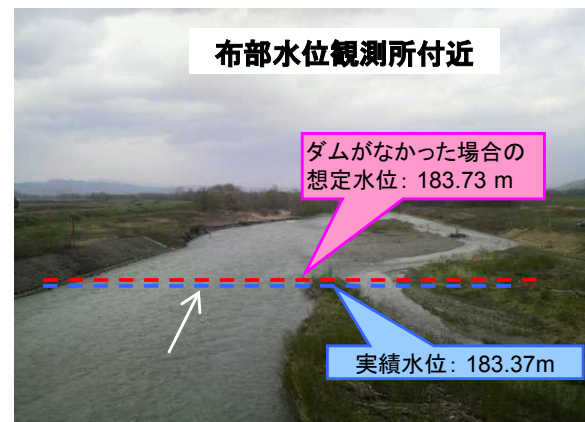
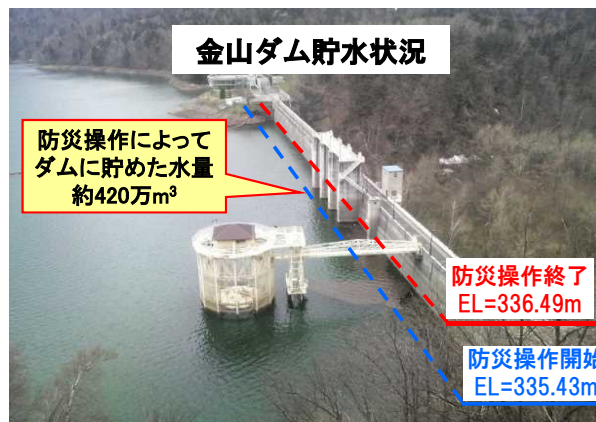
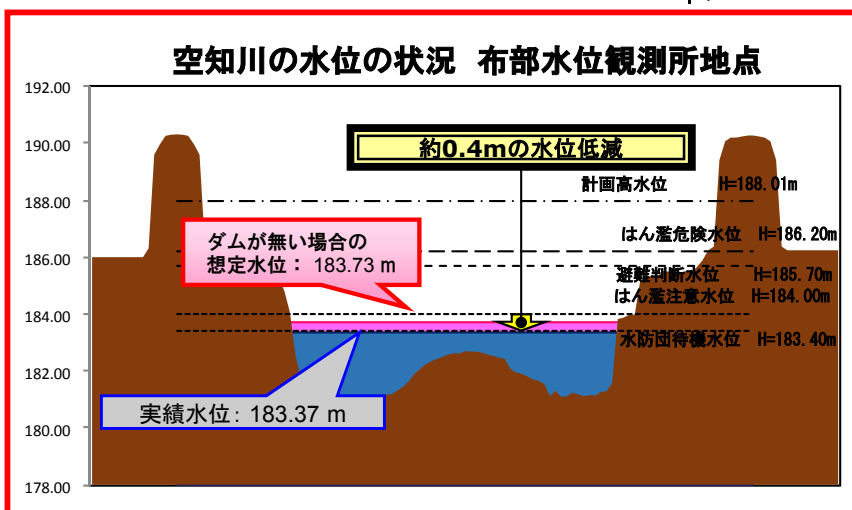
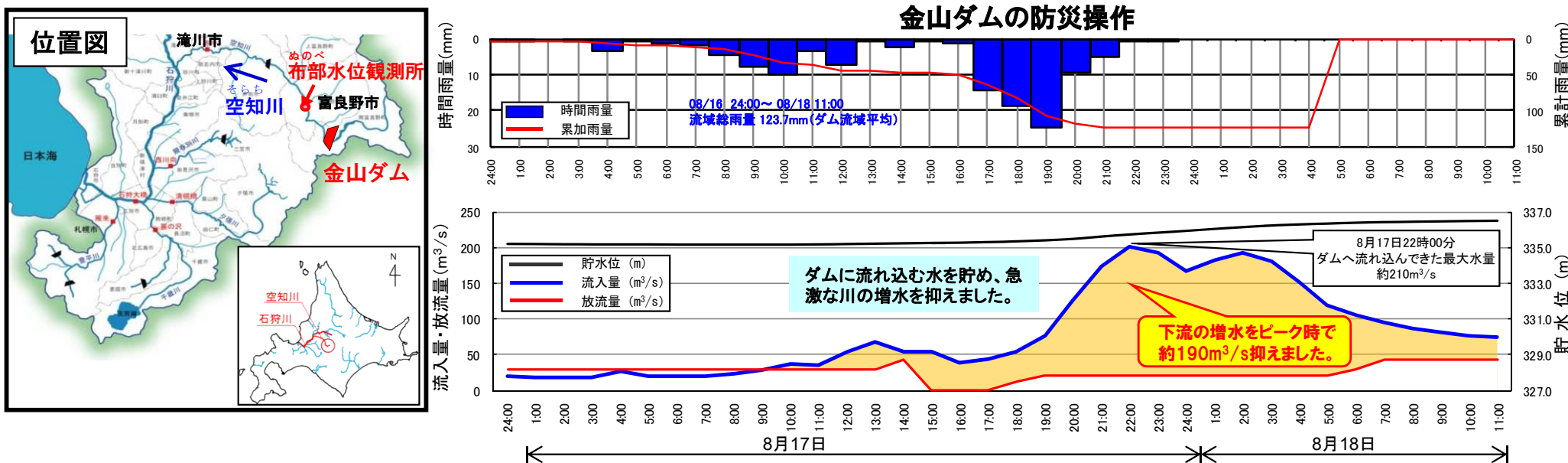


※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

治水事業の効果⑤ ダム整備が効果を発揮(北海道 金山ダム)(国管理) かなやま

- 平成28年8月17日の台風7号による降雨により、金山ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 金山ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の富良野市(布部水位観測所)では、水防団待機水位※以下の水位に抑えることができました。
- 仮にダムが整備されていなければ、水防団待機水位※を上回る出水となったことが想定されます。

※ 水防団待機水位：水防団が水防活動の準備を始める目安になる水位



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。